

知的障がい特別支援学級 国語科学習指導案

児童 1 名

指導者 佐々木 淳

1 単元名 生活の中で読もう

中心学習材 「利用案内を読もう」(光村図書6年)

2 単元について

(1) 児童の実態

M児はこれまでに、説明文の学習を通して、段落毎の中心文を捉え、文章構成図を考えたり要約文を書いたりする学習を行ってきた。「時計の時間と心の時間」(6年)では、キーワードや文末表現、つながり言葉等に注目して中心文を見つけ、事実と感想、意見等の関係を、叙述をもとにおさえる学習を進めてきた。

M児は、国語の学習に対し集中して取り組んでいる。漢字の読み書きは比較的よくでき、短い文や内容の易しい文は読み取れるが、語彙が少ないため長文や言葉が難しい文章になると読み取りに抵抗がある。修学旅行や総合での校外学習などで貰ったパンフレットでも、読み取れないことがあった。そこで、文字数の多くない本を選び、あらすじや情景、登場人物の気持ちを読み取ったり、性格や特徴、気持ちを表す本で語彙の習得に取り組んだりしてきた。また、ローマ字を十分に理解していないため、その必要性を伝え意欲を図り、ローマ字パットを使いながら少しずつ入力 of 学習を行っている。

(2) 学習材について

パンフレットには、図書館における利用カードの作り方から返却、予約に関する情報や各館の開閉館時刻まで多くの事柄が示されている。学習材では、簡単な情報を選び出す設問から始まり、後半に進むにつれて複数の情報を比較するなど段階的に学習課題が設定されている。パンフレットは、見出しと箇条書きを中心に、地図と「開館(日・時間)」「休館日」が並列的に記載され、児童が比較して考えやすいようになっている。「在住・在勤・在学」等は、児童には聞き慣れない言葉であるが、「生活の中で読む」ために必要な言葉である。辞書やウェブを使って意味を調べる力を付ける機会としたい。また、パンフレットやウェブを比べて考えることは、これからの生活において、必要な情報媒体を自ら選択する意識が高まることが期待できる。本単元をその貴重な機会と捉えて触れさせたい。

(3) 指導にあたって



指導にあたっては、次の三点に留意していく。

一点目は、本単元で育成を目指す資質・能力を育てる単元構想である。本単元で育てたい資質・能力は、「目的に応じて必要なところを選んで読んだり、複数の情報を組み合わせて考えたりする」である。構造と内容の把握の段階では、比べる力を付けるためにいくつかのパンフレットを提示し、実物を見ながら読み取り方や使い方をイメージさせ単元のゴールをつかむ。また、言葉調べを通して、内容理解につなげていく。精査・解釈の段階では、p96, 97 の設問を解きながら単元のゴールへと導いていく。パンフレットとウェブサイトの比較を通して、それぞれの媒体の特徴を知り、効果的な読み方について考えていく。更に、図書館から自分で借りるという活動を通して、自分で予約して本を借りることができるようにしていく。「一関市立花泉図書館」「名前」の入力は、表を見ないでキーボードを打つことで、ワ行以外の入力にも慣れるようにしていく。

二点目は、考えを深める工夫である。設問の「利用カードを作るため」「場所」「本を借りるため」など設問からキーワードを選び、読み取る手立てとしたい。「一関図書館」「花泉図書館」のパンフレットの読み取りを通して、読み取り方の確認をしながら進めていく。また4では、全ての条件をそろえたうえでイベントを選び、理由付けをしていく。さらに、パンフレットとウェブサイトとの違いからどんなときにウェブサイトを使うとよいか考えるとともに、交流学級の友だちに尋ねることで理解を深めていきたい。分からないときは「〇〇が分かりません」と、分からない内容が言えるように指導していきたい。

三点目は、振り返りの自己評価において振り返りがしやすいように、良かった点や頑張ったところを、その都度褒め、板書に残し記憶にとどめるとともに、まとめの段階で授業を振り返るようにしたい。

育てたい資質・能力  たいせつ  学習用語

<p>◎事実と感想, 意見などとの関係を叙述を基に押さえ, 文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること</p> <p> 筆者の主張や意図をとらえ, 自分の考えを发表しよう</p> <p>「笑うから楽しい/時計の時間と心の時間」</p>	<p>◎目的に応じて, 文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること</p> <p>「利用案内を読もう」</p>	<p>◎筋道の通った文章となるように, 文章全体の構成や展開を考えること</p> <p> 表現の工夫をとらえて読み, それをいかして書こう</p> <p>『鳥獣戯画』を読む</p>
--	---	--

4 言語活動 利用案内を読み, その特徴について交流する。

5 単元の指導計画

(1) 単元の目標

〔知識・及び技能〕	〔思考力・判断力・表現力等〕	「学びに向かう力, 人間性等」
<p>①文章の種類とその特徴について理解することができる。</p> <p>((1) カ)</p>	<p>①目的に応じて, 文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる。</p> <p>(C (1) ウ)</p>	<p>①言葉がもつよさを認識するとともに, 進んで読書をし, 国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>①文章の種類とその特徴について理解している。((1) カ)</p>	<p>①「読むこと」において, 目的に応じて, 文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけている。(C (1) ウ)</p>	<p>①進んで文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけ, 今までの学習を生かして, 図書を借りようとしている。</p>

(3) 単元指導計画・評価規準 (全 5時間)

次	時	学習過程	○学習活動 学習課題 着目する言葉	評価規準及び評価方法
一	1	構造と内容の把握	① 題名「利用案内を読もう」から内容を想像し、ゴールを確かめる。 ② 全文を読み、漢字練習と意味調べをする。 ③ p98, 99 を見て、「見出し」「字の太さ」「箇条書き」「地図」「パソコンの画面」等、気づいた事を発表する。 ④ 図書館の利用案内（パンフレット）を読み取る。 ⑤ ネットで一関市立花泉図書館を検索する。	[知識・技能①] <u>観察</u> ・新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしているか確認する。 [知識・技能①] <u>発言</u> ・文章の種類とその特徴を理解しているか確認する。 [思考・判断・表現①] <u>発言</u> ・文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見つけているか確認する。
二	2	精査・解釈	① 図書館の利用案内（パンフレット）を読み取る。 ・利用案内から情報を読み取る。 ② 花泉図書館のパンフレットの情報と比べてみる。 ③ ネットで本を検索したり予約したりする。	[思考・判断・表現①] <u>発言</u> ・文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見つけているか確認する。 [主体的に学習に取り組む態度] <u>感想</u>
	3		① 図書館の利用案内を読み取る。 ・情報を比べて考える。 ② 花泉図書館の行き方を考える。 ③ 時刻表の見方を知る。	・身の回りのさまざまな媒体から必要な情報を見つけることに関心を持っているか確認する。
三	4 ～ 5	考えの形成	① パンフレットとウェブサイトと比較する。 ② どんな時にウェブサイトを使うとよいか考える。 ③ 単元を振り返り、学習をまとめる。 (④ 図書館に借りに行く。) 生活単元	[思考・判断・表現①] <u>発言</u> ・パンフレットとウェブサイトを比較するなどして読み、わかったことや考えたことを発表しているか確認する。

4 本時の指導計画

(1) 目標

- 文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を読み取ることができる。
- 借りたい本を、ネットで検索し予約することができる。

(2) 評価規準

- ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる。 [思考・判断・表現]

〈困難が予想される時の手だて〉

- ・設問の中からキーワードを見つけ、パンフレットから読み取る手掛かりとする。
- ・ローマ字表を活用して入力する。

(3) 着目させたい言葉

資料の数と期間, 見当たらない場合, 資料が見つからないとき

(4) 展 開

段階	学習活動 ■主発問 □発問 ・指示	期待する子どもの反応	・留意点 【評価】
つかむ	1 前時の学習を振り返る 2 学習課題を把握する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 花泉図書館から本を借りるにはどうしたらいいのだろう。 </div>	○ 利用カードの作り方を読み取った。 ○ 単元のゴールを確認した。	・前時の学習を想起させる。 ・教科書の資料の読み取りを通して、自分で借りる力を付けることを確認する。
つかむ	3 課題解決の見通しを立てる □ 2 の問題を解決するためのキーワードは何ですか。	○借りられる資料, 期間 ○借りたい本が見当たらない場合	・「本を借りる」「予約・リクエスト」を見ればよいことに気づかせていく。 ・資料として, CDやDVDがあることを伝える。
かんがえる	4 自力解決する ・2の問題に取り組む <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 石井さんが本を借りるためには, 利用案内のどこを読むとよいでしょうか。利用案内から次の情報を見つけましょう。 ・借りられる資料の数と期間 ・借りたい本が見当たらない場合にする </div>	○ 本や資料は 20 冊まで ○ CDやDVDは中央図書館, 東図書館は 4 点まで, 西図書館は 2 点まで ○ 「予約・リクエスト申込用紙」に記入して, カウンターへ申し込む。電話やウェブサイトでも申し込むこともできる。 <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px;"> 手立て1 解決のポイント キーワードを手がかりに解決できるようにする。 </div>	・教科書の設問 2 に答えその後はパンフレットをもとに, いくつかの設問を解決するために調べる [思考・判断・表現] 発言・文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見つけているか確認する。
ふかめる	5 深める ・ 花泉図書館のパンフレットで調べてみましょう。 ・ 自分の借りたい本をウェブで探しましょう。	○ 「花泉図書館」のパンフレットから読み取り, 比較する。 <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px;"> 手立て2 解決のポイント 「資料を借りるとき」「借りられる数」「貸出期間」の見出しや, ローマ字表を手がかりにする。 </div> ○パソコンを使い, 一関図書館のウェブから自分の借りたい本を探し, 予約する。	・表にまとめ, 読み取り方を確認し, 比べる。 ・探したい本を事前に選んでおくようにする。 ・ローマ字入力がない場合, 表を見て入力するように声掛けをする。 ・意味の分からない言葉は説明するが, どこをクリックするか自分で考える時間をとる。 ・借り方で分からないことがあった場合, 図書支援員さんに尋ねるようにし, その聞き方を考える。
ふりかえる	8 振り返りをする ・ 振り返りを発表してください。	<div style="border: 2px solid orange; padding: 10px;"> 手立て3 振り返りの観点 「数」や「予約・リクエスト」を手がかりにして, 必要な情報を読みとることができたか。PC の使い方, ローマ字表を手がかりに自分で本を予約できたか。 (資質・能力) </div>	・本時を振り返り, 今日の学習で分かったことやできるようになったことを実感できるようにする。